

申請書

6. 事業内容	<p>本事業では、「北部州イースト・マンブルーシー郡の2歳未満児の栄養と健康状態が改善する」ことを上位目標として掲げ、以下を事業の3本柱として、諸活動が構成されている。</p> <p>(1)乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の栄養啓発活動 (2)乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の食習慣の改善活動 (3)女性の経済的エンパワメント</p> <p>(1)及び(2)については、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の以下の目標2に寄与し、とりわけ、ターゲット2.2の実現に向け、活動を展開してゆく。 目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。 2.2 5歳未満の子どもの発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。</p> <p>(3)については、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の以下の目標1と目標5に寄与する。 目標1については、とりわけ、村内貯蓄貸付組合 (VSLA) に関する活動が、アクセスの悪い地域において、特に女性を対象に金融サービスを届ける点でターゲット1.4の実現に向けた活動といえる。 目標1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる 1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。</p> <p>目標5については、とりわけ、ターゲット5.1及び5.5の実現に向け、活動を展開してゆく。 目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。</p> <p>本事業では、北部州イースト・マンブルーシー郡の60コミュニティ内の約4,370名の2歳未満児の子ども、約25,690名の保護者ら (女性約13,120名、男性約12,570名) 及び約3,000名の新旧の村内貯蓄貸付組合員 (VSLA メンバー) を対象にしている。直接的には上記が対象受益者であるが、栄養教育係、コミュニティ・ヘルス・ボランティア、男性栄養啓発員等のコミュニティ・ワーカー約390名も各活動で重要な役割を果たす。活動の成果が将来的に広く対象地域内に広がることで、間接的には対象コミュニティ内約78,078名が裨益する。前述の上位目標に向け、2年次では下記の活動を実施予定である。</p> <p>(1) 乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の栄養啓発活動 <u>活動①：コミュニティ・ヘルス・ボランティア (CHV) を対象とした栄養普及研修の実施</u> 60コミュニティから各2名、計120名のコミュニティ・ヘルス・ボランティア (CHV) を選考する。CHVを研修して、1年次に開発した「カウンセリングカード」を利用して、栄養情報を普及できるようにする。 <u>活動②：村内貯蓄貸付組合 (VSLA) の組合員のうち栄養教育係 (Peer educators) を</u></p>
----------------	---

	<p>対象とした栄養普及研修の実施</p> <p>新規 120 及び既存 30 の村内貯蓄貸付組合 (VSLA) の中から栄養教育係 (Peer educators) 計 150 名を選考する。栄養教育係を研修して、1 年次に開発した「カウンセリングカード」を利用して、栄養情報を普及できるようにする。</p> <p>活動③：男性啓発員を対象とした栄養普及研修の実施</p> <p>60 コミュニティの中から各男性 2 名、計 120 名の男性を各コミュニティ・リーダーと協議して選考する。また、彼らを研修して、定例の男性会議で「父親ポスター」を利用して、会議に参加する男性たちの対話や議論を活性化できるようにする。</p> <p>活動④：上記活動①～③の研修を受けた各栄養啓発員を対象とした毎月の振り返りの会議の開催</p> <p>活動⑦：保護者を対象とした CHV、栄養教育係、男性啓発員による乳幼児の栄養啓発メッセージに関する教育セッションの開催</p> <p>村内貯蓄貸付組合 (VSLA) 定例会議、男性会議、子どもの健康福祉会議において、子どもの栄養啓発メッセージと食習慣について話し合う機会をもつ。各コミュニティで、年間 10 回程度の開催を予定している。</p> <p>また、当初、計画には自転車の導入は含めていなかった。120 名の CHV による教育セッションでは、アウトリーチの方法を取り入れ、世帯訪問を積極的に行う。世帯を効率的に行き来し、またより多くの潜在的な受益者をカバーするための手段として中古の自転車を導入する。</p> <p>活動⑨：コミュニティ・リーダー及び男性を対象とした乳幼児の栄養と健康に関する理解促進のためのコミュニティ全体会議の開催</p> <p>コミュニティが参加するコミュニティ全体の会議を年 10 回程度開催する。</p> <p>(2) 乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の食習慣の改善活動</p> <p>活動①：栄養教育係を対象とした調理実演のための TOT (訓練者養成) 研修</p> <p>活動②：保護者らを対象とした適切な食事の摂取習慣に関する調理実演会の実施</p> <p>イースト・マンブルーシー郡農業開発部の女性農業課と協力して、研修を受けた組合員 (上記 (1) 活動②の栄養教育係) によって、調理方法を改善するための調理実演会を開催する。四半期ごとに開催し、試食会の後には必ず参加した保護者ら全員にその場で調理の実践をしてもらう。</p> <p>活動④：演劇グループを対象とした四半期リハーサルの開催</p> <p>活動⑤：保護者らを対象とした演劇グループによる寸劇の実施</p> <p>寸劇は四半期ごとに開催され、寸劇後、参加者の理解度をクイズで確認する。</p> <p>活動⑨：1 年次に育成した女性起業家による「ココプラス」の需要創出</p> <p>各コミュニティにて特定の日に「マーケットの日 (ココプラスデー)」を開催し、農作物や商品を持ち寄り販売、またソーシャル・ビジネス商品 (栄養補助サプリメント「ココプラス」) の販売も行い、販売と併せて購入者に乳幼児に関する栄養啓発メッセージも伝播してゆく。</p> <p>(3) 女性の経済的エンパワメント</p> <p>村内貯蓄貸付組合 (VSLA) の設立、VSLA 運営研修、コミュニティに対する VSLA に関する理解促進ワークショップ、「ココプラス」を販売促進する女性起業家の育成等の 5 つの活動は全て 1 年次に実施。</p>
<p>7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など</p>	<p>(1) これまでの成果 (実施した事業内容とその具体的成果)</p> <p>事業開始 (2016 年 2 月) から 2 年次事業概要提出時 (2016 年 7 月末時点) までの約半年間においては、主に、1 年次後半以降の活動の本格的な始動に向け事業実施体制を整備してきた。</p> <p>(1)-1 活動開始前準備：</p> <p>①現地プロジェクトスタッフの採用：</p>

新規スタッフとして、プロジェクト・ファシリテーター1名と運転手1名を予定通り5月までに採用した。当初、事業会計補佐の業務を行う予定だったスタッフが事業開始までに退職したため、現在はアクラ事務所のグラント・マネージャーが業務を代行している。事業会計補佐に関して本事業では50%の人役であり、新規雇用する場合、残り的人役50%の予算が確定していないため、今後、既存スタッフが本事業にかかる会計担当者として業務を担う予定である。また、新規スタッフ、既存スタッフともに本事業に従事するスタッフとパートナー団体スタッフを対象に5月にオリエンテーションを実施した。

②資機材の調達：

現地スタッフ用のコンピューター2台及びバイク6台の調達が完了した。バイクについては、当初予定していたスズキ製バイクは、使用している燃料が北部州では一般的ではないことが判明したため、燃料や部品の入手し易さを考慮し、また、コミュニティの道路事情から耐年数を考慮し、ヤマハ製バイクが、フィールドでの活動にはより適していると判断した。単価が予算額を超えたが、費目間流用のルールを適用することとし調達を決定した。

③地方自治体及びパートナー団体との事業開始に向けた会議の開催及びパートナー団体との契約締結：

予定通り4月には、事業概要と方向性、進め方及び連携体制等について、自治体側担当者とパートナー団体と会議を持ち、関係者の理解促進を促した。

④対象コミュニティの住民らとの事業開始会議の開催：

対象地域である各60コミュニティにおいて正式な活動の承認を済ませ、住民を対象とした事業開始時会議を開催した。

(1)-2 活動実績：

7月時点での活動実績はまだ限定的であるが、以下の活動を実施してきた。

①ベースライン調査の準備：

ベースライン調査は7月中旬には終わっている計画だったが約2ヶ月間遅れる結果となった。コンサルタント選定において適任者が見つからず、2回の公募を経てコンサルタントを決定したこと、価格交渉が長引いたことにより1ヶ月程度遅れて7月後半からスタッフの研修が開始されたこと、更に、調査自体は8月1日から予定していたが、ガーナ保健局より「人間を対象とした調査に関しては倫理上の正当性を当局で確認した上での承認が必要」と連絡が入ったため、9月に延期せざるを得ない事態となったこと、の3点が遅れの原因である。急遽、当団体より承認手続きに必要な書類をガーナ保健局に提出することとなった。承認は8月末には得られる予定であり、9月上旬に調査を開始し、報告書の完成は9月末を予定している。なお、これまで当団体にて様々な調査を行ってきたが、このような承認を求められたことはないため、今後同様の事態を避けるべく別途ガーナ保健局と話し合いの場を設ける。

②カウンセリングカードの再開発と父親ポスターの開発：

栄養啓発教材として、先行事業でも利用したカウンセリングカードと父親ポスターを再開発した。5月には印刷が手配され、啓発活動での利用に向け6月に納品された。

③VSLAの仕組みに関する研修の実施

6月には、プロジェクトスタッフ及びパートナー団体へのVSLAの仕組みについての研修を行った。

④コミュニティ・リーダーや住民向けのVSLAについての理解促進活動

コミュニティにおける事業開始会議を行うと同時に、VSLAの理解促進活動も行った。現在、各コミュニティはVSLAの結成に入っている。

(2) これまでの事業を通じての課題・問題点と対応策

事業の運営面と活動の実施面の2点から、以下に主な課題と対応をまとめた。

(2)-1：運営面での課題と対応策

①現地プロジェクトスタッフの人員体制：

事業会計補佐のポジションが埋まらないままに事業開始から半年が経過しており、当面、既存スタッフを本事業にかかる会計担当として業務を行ってもらう予定である。また、VSLA アドバイザーは当初1名体制で本事業には5%の人役であたることを予定していたが、当人が他の事業の担当者として昇任したことで、本事業に時間を割くことができなくなった。このような不測の事態にも柔軟に対応できるように、VSLA アドバイザーについては全体の人役は5%のままとして3人体制であたることとした。

②広域なプロジェクトサイトにおける人員体制：

活動地域が広域なため（北部州イースト・マンプルーシー郡 60 コミュニティ）、活動の質を保ちつつ、タイムラインに則って効率良く活動を広げることが求められている。事業地では、プロジェクトに関わるスタッフとして直接雇用であるプロジェクト・ファシリテーター2名、パートナー団体における当事業フィールド・オフィサー4名、計6名のチームで構成する。担当区分としては、対象地域である60コミュニティを大きく2つに分割し、30コミュニティを3名のチームで管轄する計画とした。フィールド・オフィサー2名がそれぞれ15コミュニティを担当し、プロジェクト・ファシリテーター1名が30コミュニティ全体を管轄・取りまとめ、プロジェクト・マネジャーへの報告などを担う予定である。このエリア分割にあたっては、現地事情に詳しいチームメンバーの話し合いのもと、各主要地域、移動の利便性、人口などを考慮し配分する工夫をした。

(2)-2:活動面での課題と対応策

①村内貯蓄貸付組合(VSLA)に関する活動：

予定より1ヶ月程度遅れ、スタッフ向けVSLAの新規設立・運営に関する研修、コミュニティに対するVSLAに関する理解促進ワークショップ等が開始された。1年次の終わりまでには、120の新規VSLAの設立と運営研修の完了を目標としているが、VSLAによりその運営体制の成熟度にはばらつきが出てくることはガーナ事務所が実施する他の事業の結果から明らかであった。1年次の後半に向け、設立と研修を詰め込むだけでは、事業終了後のVSLAの存続が危ぶまれることはもとより、2年次以降の諸活動でもVSLAは鍵となるため、その継続性についてはモニタリングを入念に行い運営体制の整備をフォローしてゆく。

②栄養補助サプリメント「ココプラス」を販売する既存の卸との契約更新：

女性起業家の収入創出及び乳幼児の栄養改善の両面においてツールとなる栄養補助サプリメント「ココプラス」を販売する既存の卸との契約更新を、4月から予定していた。しかし、契約更新にあたっての事前相談が遅れており9月にずれこむ。また、先行事業にて既に契約があった卸の中で、支払いに遅延がある卸があったため、この卸との契約は更新せずに代替りの卸を探すことが課題として挙げられる。

60コミュニティをカバーする卸が確定しないと「ココプラス」を村まで流通させることができない。村までの流通が確保できないと、本事業で育成してゆく女性起業家が収入創出に向けた活動を始動できないことに加え、乳幼児の栄養改善の面でも少なからず影響がでることも懸念される。卸との契約更新の主体は本事業の連携企業である味の素の委託先業者であるが、これ以上の遅れが発生しないように、当団体からのフォローアップをこれまで以上に入念に行う。

(3)「持続可能な開発目標(SDGs)」の該当目標への寄与

事業開始から半年時点において、SDGsに対する具体的な成果はまだ発現していないが、成果発現に向けた下地作りを進めてきた。とりわけ、目標5のターゲット5.5の実現に直接的に寄与する活動としては、女性の収入創出にも繋がる村内貯蓄貸付組合(VSLA)に関する諸活動を挙げることができる。また、VSLAは、村内において、特に女性を対象に金融サービスを提供することから、目標1のターゲット1.4にも寄与する。

<p>8. 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>2年次で達成される具体的成果は下記の通りである。3ヵ年事業の折り返し地点にあたる2年次は、まだ活動レベルの指標が主となる。尚、プロジェクト全体としての達成目標は添付の総括表を参照のこと。</p> <p>(1) 乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の栄養啓発活動</p> <p>① 成果1: コミュニティ・ヘルス・ボランティア(CHV)、村内貯蓄貸付組合(VSLA)内の栄養教育係(Peer educators)及び男性啓発員らによる栄養啓発メッセージの普及によって、乳幼児の保護者らが乳幼児の栄養と健康に関する知識を身に付けるようになる。 成果1においては、乳幼児を持つ保護者にアウトリーチし、栄養啓発メッセージを地域で広く伝播する役割を担うコミュニティ・ワーカーを育成することで、SDGsの目標2のターゲット2.2の実現に寄与してゆく。</p> <p>② 成果1を測る指標【2年次】:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 訓練を受けたCHVによるカウンセリングカードを使用した乳幼児の栄養に関するセッションが各60のコミュニティで10回は開催される。 2) 訓練を受けた栄養教育係によるカウンセリングカードを使用した乳幼児の栄養に関するセッションが新規及び既存の150のVSLAにおいて各10回は開催される。 3) 訓練を受けた男性啓発員による父親ポスターを使用した乳幼児の栄養に関するセッションが各60のコミュニティで10回は開催される。 4) CHV、栄養教育係、男性啓発員らが普及する栄養啓発メッセージを受け取った保護者らの50%は乳幼児の栄養について理解を深めるようになる。 <p>③ 成果1の指標の確認方法:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング報告書 2) CHV、栄養教育係、男性啓発員対象の研修報告書 3) コミュニティレポート 4) 参加者リスト / 配布記録 5) CHV、栄養教育係、男性啓発員へのフォーカスグループインタビュー(栄養啓発メッセージの普及能力の調査) 6) 保護者らへの満足度・理解度調査(インタビュー式) 7) コミュニティ・リーダーへのフォーカスグループインタビュー(関与レベルの調査) <p>(2) 乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の食習慣の改善活動</p> <p>① 成果2: 乳幼児の保護者らが食事の摂取方法について学び、適切な食習慣を実践できるようになる。 成果2においては、乳幼児の保護者らが上記成果1で身に着けた栄養についての知識を、調理実演等を通して実践力にしてゆくことで、SDGsの目標2のターゲット2.2の実現に寄与してゆく。</p> <p>② 成果2を測る指標【2年次】:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 調理実演が栄養教育係によって四半期毎に60回開催される。 2) コミュニティメンバーの30%が調理実習に参加する。 3) 寸劇がコミュニティ演劇グループによって四半期毎に60回開催される。 4) コミュニティメンバーの30%が寸劇に参加する。 5) 調理実演や演劇実演に参加した保護者らの50%は家庭内で栄養価を高められる調理方法を実践できるようになる。 6) 各60のコミュニティで月2回の需要創出イベントが実施される。 7) 2年次の終わりまでに毎月19,200個の「ココプラス」が売られる。 8) 「ココプラス」を購入した世帯で、50%の2歳未満児が週4回、「ココプラス」
----------------------------------	---

を定期的に摂取するようになる。

③ 成果 2 の指標の確認方法：

- 1) モニタリング報告書
- 2) 栄養教育係への TOT (訓練者養成) 研修報告書
- 3) 卸のプロファイル
- 4) 女性起業家 (VBEs) のプロファイル
- 5) 参加者リスト
- 6) 家庭訪問による直接観察
- 7) 保護者らへの満足度・理解度調査 (インタビュー式)
- 8) 栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売記録

(3) 女性の経済的エンパワメント

① 成果 3：

女性が家族の福祉の向上のために収入創出活動に参加するようになる。

成果 3 においては、VSLA で女性が起業家として収入創出を図ることで、SDGs の目標 5 のターゲット 5.1 及び 5.5 の実現に寄与してゆく。また、VSLA は、村内において特に女性を対象に金融サービスを提供することから、目標 1 のターゲット 1.4 にも寄与する。

② 成果 3 を測る指標【2 年次】：

- 1) 年に 60% の組合員が村内貯蓄貸付組合 (VSLA) から借入する。
- 2) 50% の VSLA 内女性起業家 (VBEs) が栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売を通して収入を向上させる。

③ 成果 3 の指標の確認方法：

- 1) パートナー団体対象の研修報告書及びモニタリング報告書
- 2) VBEs へのフォーカスグループインタビュー
- 3) VBEs の夫とのフォーカスグループインタビュー
- 4) 家庭訪問による直接観察
- 5) 栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売記録